

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		畜犬登録事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050801000240
総合計画の施策名		0508	生活環境の保全				単独/補助	単独	所属課	030301 生活環境課
政策体系	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり						課長名	
	施策名	08	生活環境の保全						グループ	環境公害対策G
	手段名	01	①公害防止・生活環境の保全						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業			
法令根拠	狂犬病予防法、桜川市狂犬病予防法施行規則					単年度繰返し (昭和25 年度～)				
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 狂犬病予防法に基づき、犬を飼養しようとする場合生涯一度の犬の登録が必要であり、その登録管理及び狂犬病予防注射の推進を行う。 令和6年度から狂犬病予防事業へ統合する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 犬の登録申請受付、注射済票交付申請受付、鑑札交付、注射済票の交付、死亡届及び所在地変更等の登録管理事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
・犬の登録鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付。 ・登録情報管理事務	啓発活動回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
桜川市で飼養されている犬 登録されてる犬またその飼い主	登録犬件数	件	2,229.00	2,219.00	2,200.00	2,150.00	2,100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
登録管理をすることで狂犬病予防注射の接種率を向上させ、狂犬病の発生及び蔓延防止に寄与する。	新規登録件数	件	103.00	78.00	100.00	100.00	100.00
	狂犬病予防注射の接種頭数	頭	1,256.00	1,168.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	654	575	650	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	-623	-538	-613	
	事業費計 (A)	千円	31	37	37		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	37		10 需用費	37	
		合計	37		合計	37

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	犬の登録申請受付、注射済票交付申請受付、鑑札交付、注射済票の交付、死亡届及び所在地変更等の登録管理事務の実施。	犬の登録申請受付、注射済票交付申請受付、鑑札交付、注射済票の交付、死亡届及び所在地変更等の登録管理事務の実施。	犬の登録申請受付、注射済票交付申請受付、鑑札交付、注射済票の交付、死亡届及び所在地変更等の登録管理事務の実施。

事務事業名	畜犬登録事業	事務事業No.	50801000240	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和25年の狂犬病予防法の制定に基づき予防注射が義務付けられ予防注射の接種率向上のため登録管理により飼主への啓発を行っている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ アレルギーや病気等によって、狂犬病予防注射を受けることができない犬については、猶予証明書を獣医師より発行してもらい市役所に提出していただいているが、アレルギーに関しては治ることがないものであるのに毎年出す必要はないのではないか。という声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 適正な飼育について継続したPRをすることは接種率の増加、飼育モラルの向上が図られ、よい環境に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 狂犬病予防法の規定により実施するもので、登録・予防注射・適正な飼育管理を行う。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 未登録・予防注射の未接種を減らすために継続的な啓発の実施。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法律の規定によるものであり、人間にも重大な危機をもたらす狂犬病の発生を抑制するためには廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 狂犬病予防事業 第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 狂犬病予防事業の集合注射実施時に畜犬登録事業の新規登録事務もやっている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 登録の鑑札の費用であり削減はできない。必要最小限度の経費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 登録手数料の個人負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 令和6年度は、広報誌に飼い主のマナーに関する記事を掲載し、啓発活動を実施した。新規登録頭数よりも死亡件数が上回る状況が続いており、犬の台帳登録頭数は減少傾向にある。これに比例して、狂犬病予防注射の接種頭数も年々減少しており、接種率も前年度を下回った。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 茨城県が目標としている狂犬病予防注射の接種率70%の達成に向けては、犬の登録台帳の整備 (明らかに死亡している犬の削除) が必要と考えられる。 その解決策として、該当する登録犬をピックアップし、1件ずつ電話確認を行っていく対応が求められる。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>